

いちのみやの芸術文化



琉球国見聞記
(尾西歴史民俗資料館蔵)

- [特集] 美濃路をゆく琉球使節
- [エッセイ] 詩吟と子どもたちとの出会い
吟剣詩舞部門 吟道関心流真和支部 / 岸田 芳淑
- 役員紹介・加入団体一覧
- これからの催し

2023.6

第61号

一宮市芸術文化協会

「一宮市」には、一宮市博物館・一宮市三岸節子記念美術館・一宮市尾西歴史民俗資料館など先人の残した文化を紹介する施設があります。私たちの「身近な文化」を学んでみませんか？

美濃路をゆく琉球使節

琉球王国

沖縄本島、先島諸島（宮古・八重山）から成る沖縄県は、日本を代表する観光地として賑わっています。沖縄県は明治十二年（一八七九）に日本の近代化の中で併合・設置された行政区であり、それまでは琉球王国という一つの国でした。その支配域は沖縄本島だけでなく、先島諸島から奄美群島に及びました。琉球王国は沖縄本島の地域勢力を統一した尚氏しやう氏によって十四世紀に築かれた王朝で、沖縄における初めての統一国家でした。琉球王国は当時の中国の明・清王朝の支配下（朝貢関係）にありましたが、その地理的優位性を活かして中国、日本、東南アジアを含め東アジア圏の中継貿易で栄えました。

江戸時代には薩摩藩島津氏が琉球の支配下にあった奄美群島にも侵攻し、奄美群島は薩摩藩

の領内となりました。現在、奄美群島が鹿児島県になっている理由です。江戸時代、琉球王国

は中国と薩摩藩の二重支配下に置かれてきましたが、独立した国であったことには変わりありません。

表紙にある資料は琉球国の概要を記した冊子で、起宿で船庄屋と脇本陣を務めていた林家に残されていたものです。中国風の装束を見ても、琉球が異国であったことが分かります。

琉球使節

琉球国王や徳川將軍の代替わりには、琉球から江戸に使者が派遣されました。琉球使節は將軍就任を祝う慶賀使と琉球国王の代替わりに派遣される謝恩使がありました。

琉球使節は旅行道中に残る史料には「琉球人」と表記されています。使節団の構成は正使、副



▲琉球人行列図 タルイピアセンター（垂井町）所蔵

使、替儀官、書翰使かたがは、楽師等がくし、約百名の構成でした。しかし、この人数は「琉球人」の人数であり、薩摩藩の一行も随行しているため、百名よりも人数が多くなりました。使節団の最高位である正使は国王一族である王子が務め、副使

は琉球士族最高の位である親方が務めました。

首里城を出た一行は航路で鹿児島島に入り、

しばらく滞在した後、江戸に向けて出発しま

した。九州西部から船を利用して海伝いを移

動し、瀬戸内海に入り、大坂からは淀川を上

り、伏見で上陸後は陸路が利用されました。

宿泊する宿場では、本陣には正使、脇本陣に

は副使が入りました。城下町などでは音楽を

奏でることもありました。江戸で將軍に拝謁

する等、儀式を

終えた後、帰国

するとい一年

以上になる長期

の旅でした。首

里から江戸まで

の長旅の途中で

病気になるり亡く

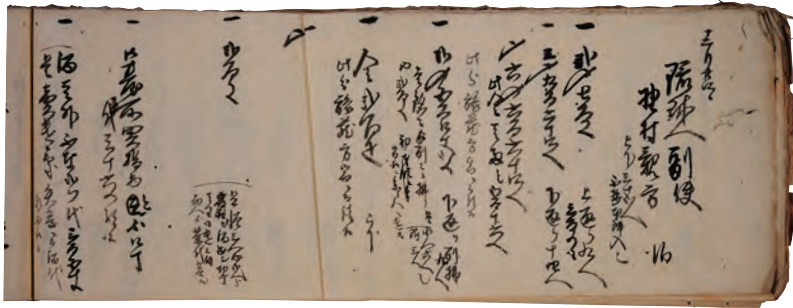
なった人も多く

街道筋の寺院に

は随行した人々

の墓も多く残っ

ています。



▲起宿脇本陣宿帳(野村親方の宿泊)(尾西歴史民俗資料館蔵)

美濃路と使節団

当初は東海道が使用されていましたが正徳

四年(一七二四)以降、美濃路での通行が定例

となります。この背景には寛文十一年(一六七

一)の使節帰国時におこった熱田・桑名間の七

里の渡しでの遭難があったとされています。

七里の渡しを避けても、美濃路には大垣から

起宿までの四里余(約十五km)の区間を流れる

揖斐川・長良川・境川・木曾川の四つの渡し

がありました。日本にきた外国使節は朝鮮通

信使が有名ですが、朝鮮通信使の時は船橋が

架けられたのに対して、琉球使節の通行時は

境川のみ船橋が架けられ、残りの三川は渡

船でした。



▲琉球使節記念常夜燈(墨俣宿)

朝鮮通信使は江戸時代中期の宝暦十四年(一

七六四)を最後に江戸に行くことはありません

でした。一方の琉球使節は江戸時代では嘉永三

年(一八五〇)に派遣されたのち、明治五年(一

八七二)にも派遣されました。

異国から来た琉球使節に対して人々の関心も

高く、多くの刷り物が発行されました。道中

は地域の文化人と琉球使節との文化交流も見ら

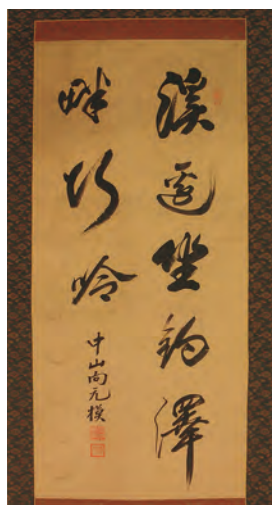
れました。墨俣宿には琉球使節が揮毫した燈籠

が残っています。また、琉球使節の副使の宿泊

場所となった起宿脇本陣の林家にも、嘉永三年

(一八五〇)に副使を務めた野村親方から拝領し

た書が残っています。



▲野村親方より拝領の書
「溪邊坐釣澤畔行吟 中山向元撰」
(尾西歴史民俗資料館蔵)

琉球使節は外国との関係が制限されていた日
本において、異国文化に接触できる数少ない機
会でした。

(尾西歴史民俗資料館 学芸員 宮川充史)

詩吟と子どもたちとの出会い

吟剣詩舞部門 吟道関心流真和支部 岸田 芳淑

私が初めて詩吟に出会ったのは、二十三歳の時でした。隣のおじちゃんが亡くなり、家からの出棺の時、突然お経のような声が数人の人達から聞こえてきました。初めは何かは解らなかつたですが、聞いているうちに胸が熱くなり、涙が出てきたのを今でも鮮明に覚えています。

私が初めて出会った詩吟「弔吟」は、仲間との最期の別れの時、「吟盟の霊を弔う」を吟じながら、故人を見送る詩吟でした。

詩吟との出会いから数年が過ぎ、名古屋から一宮へ嫁いだ際、やはり縁があったのか、詩吟を嗜んでいる方と出会いました。早速会を立ち上げ、昭和六十二年に「吟道関心流愛知県本部真和支部若栗吟詩会」としてスタートしました。当時、武田禧洲先生率いる「真和支部」は、会員二百五十名前後いる大世帯で、先生方に手取り足取りご指導頂きました。

会の立ち上げから二十五年ほど



構成吟終了後の記念写真

過ぎた頃、おばあさんと孫の二人で連吟をしているのを見て、私も孫と一緒に詩吟ができたら、と思いました。孫が小学一年生になりました。孫が小学一年生になり、早速誘ってみましたが、やはりけんもほろろに断られました。しかし、ここで諦めてはなるものかと作戦を変え、近所の年長組のお友達を先に誘い、外堀から攻めてみたら、見事に大成功。

子どもたちの指導を始めて三年目になり、小学一年生から始めた孫も今年大学一年生。そして、孫とお友達の二人に始めた指導も

今では高校生が五人、中学生が一人、小学生が五人の計十二人まで増え、楽しんで練習に励んでいます。今では、色々なコンクールに出場し、全国大会で優勝出来るまでに成長してくれました。最近私子どもたちに若いパワーをもらっています。舞台上一人で、あるいは数人で立つという事はなかなか出来ない経験であり、子どもたちの人生のページに刻み込んでくれたら幸いに思っています。



真和支部45周年吟詠大会オープニングセレモニー(令和3年11月)

これまでの活動を通じて、年齢や性別を問わず多くの人と出会えたことは、詩吟の魅力の一つだと思います。

詩吟人口が減少している昨今、一人でも多くの方に参加して頂ける様、楽しく詩吟に携わっていきたいと思っています。

私と詩吟の出会いとなった、故人を最期に弔う詩吟「吟盟の霊を弔う」を紹介します。

吟盟の霊を弔う 藤井 芳洲

隔断す人間の、明と幽と。

法廷、舊を懐うて、暗に愁を催す。

壇頭仰ぎ見る、生前の貌。

稽顙香を焚けば、涙自ら流る。



全国選抜興道杯での連吟風景

令和5年度

一宮市芸術文化協会役員

文学部					部	役員名	氏名	備考(部門/団体名)
詩部門	狂俳部門	川柳部門	俳句部門	短歌部門	部長	中野正康	氏名	一宮市長
清水義晴	山本範子	川越洪太郎	光崎賢治	川合順夫	氏名	加藤昌義	氏名	茶道・華道部門/同派会
一宮現代詩協会	一宮狂俳壇連盟	一宮川柳社	一宮市民俳句教室	真清短歌会	団体名	小島祥子	氏名	声楽・合唱部門/一宮音楽家協会
						不破皓	氏名	吹奏楽・管弦楽部門/尾西ウィンドオーケストラ
						大島麻琴	氏名	洋画部門/一宮美術作家協会/洋画部
						不破務	氏名	舞踊部門/新舞踊あすか会
						夫馬勲	氏名	写真部門/一宮写真協会
						鶴飼輝子	氏名	吟剣詩舞部門/柳翠剣詩舞道会

※左表は各部門選出の理事一覧表です。

(敬称略)

社会文化部	芸能部		音楽部						美術部				部	
茶道・華道部門	芸能部門	舞踊部門	吹奏楽・管弦楽部門	器楽部門	声楽・合唱部門	吟剣詩舞部門	謡曲部門	邦楽部門	写真部門	書部門	彫塑部門	洋画部門	日本画部門	部長
○	○				○							○		氏名
脇田まつ子	木全修	花柳こま希久	浅井英仁	岩田法智華	久野以早夫	高間加代子	森恒夫	脇田美登里	武鹿千代	川浦碧濤	鶴飼辰郎	三輪修	高橋弘子	氏名
一宮華道連盟	一宮民俗芸能連盟	一宮舞踊協会	一宮市民吹奏楽団	特定非営利活動法人 旭雅楽会	一宮音楽家協会	濃尾岳風会 一宮支部	一宮謡曲同好会	一宮三曲協会	一宮写真協会	公益社団法人中部日本書道会 一宮支部	一宮美術作家協会 / デザイン・工芸部・彫塑部	一宮美術作家協会 / 洋画部	一宮美術作家協会 / 日本画部	団体名

(敬称略)

加入団体一覧

(令和5年5月現在)

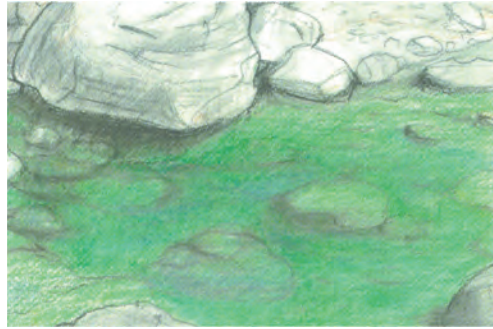
部	部門	団体名	主な活動日時・場所
			活動内容
文学部	短歌部門	真清短歌会	毎月第2日曜日：午後1時～ 一宮スポーツ文化センター
			毎月の短歌教室と年3回の短歌大会、年4回同人誌(蒼原)を発行し、楽しんでいます。
	俳句部門	一宮市民俳句教室	毎月第3日曜日：午後1時～ 一宮スポーツ文化センター
			初心者も交え俳句会を開き、年に一度秋の吟行会に参加しています。
		北方俳句会	毎月第1水曜日：午後1時～ 北方公民館
			自然に親しみ、心豊かに生きている喜びを詠っています。
		本町俳句会	毎週金曜日：午後1時～ 大志公民館
			四季の移ろいに自分の思いも入れ句に詠むことは心を豊かにします。
		ききょうの会	毎月第1・3水曜日：午後1時～ 大志公民館
			四季の自然や生活の中で気付いた事を五七五にまとめて句会を致しております。お気軽にどうぞ。
		千秋俳句クラブ	毎月第1木曜日：午後1時～ 千秋公民館
			当季雑詠6句を持ち寄り講師に指導いただき、11月には千秋文化展に出展し頑張っています。
	尾西牡丹句会	毎月第3土曜日：午後1時～ 尾西生涯学習センター	
		毎月の句会では全員が披露し交流を深めています。毎年バスで吟行会と尾西俳句大会を実施しています。	
	びさい南俳句会	毎月第1金曜日：午後1時～ 尾西南部生涯学習センター	
		当日は俳句会をします。会の終わりに久保武氏の講評があり、折々の吟行会に参加します。	
	尾西仏手柑俳句会	毎月第2日曜日：午後2時～ 応蓮寺	
大徳公民館で活動を始めました。第4日曜日午後2時から3時30分まで。ご参加お待ちしております。			
尾西新樹会	毎月第1月曜日：午後1時～ 尾西生涯学習センター		
	俳句を通じて人との触れ合いを大切にして作句し、吟行会や俳句大会へも積極的に参加しています。		
川柳部門	一宮川柳社	毎月第4日曜日：午後1時～ 一宮スポーツ文化センター	
狂俳部門	一宮狂俳壇連盟	毎月第2土曜日：午後1時～ 葉栗公民館	
		一宮市に残る庶民文芸を伝承し、地域文化として普及するよう、言葉遊びを楽しんでいます。	
詩部門	一宮現代詩協会	事務局へお問合せください。	
		詩が好きな仲間が集まりました。詩心がある方はもちろん、始めてみたい方、どなたでも大歓迎です。	
		毎月第1火曜日・第4土曜日：午前10時～ 中央図書館	
一宮漢詩濤聲會	毎月第1火曜日・第4土曜日：午前10時～ 中央図書館		
	自作の漢詩を各自持ち寄り、互いに読み合っ、より良い作品へ仕上げる添削等を検討します。		
美術部	日本画部門	一宮美術作家協会／日本画部	事務局へお問合せください。 市を代表する各部門の作家らの独創的な作品展を企画し、地域の芸術文化の発展に寄与していきます。
		桃墨会	毎月第2・4火曜日：午後2時～ 一宮スポーツ文化センター 趣味とは云えども芸術としての水墨画を目ざし、年2回のスケッチ旅行と年1回の桃墨会展を開催しています。
	洋画部門	一宮美術作家協会／洋画部	事務局へお問合せください。 市を代表する各部門の作家らの独創的な作品展を企画し、地域の芸術文化の発展に寄与していきます。
		尾西絵画クラブ	毎月第1・3土曜日：午後1時～ 尾西生涯学習センター 絵画をつうじて美術文化の発展と人との出会いを大切にし、中央の公募展をめざして精進します。
		尾西作家協会	事務局へお問合せください。 絵画や工芸作品の発表を通して美術文化の発展に協力します。チャリティー展を開催します。

部	部 門	団 体 名	主 な 活 動 日 時 ・ 場 所
			活 動 内 容
美術部	洋画部門	水 絵 の 会	毎月第1・3金曜日：午前10時～ 尾西南部生涯学習センター 水彩画を楽しみ、個性を表現出来る様に描くことを学んでいます。
		楽 し く 描 こ う 会	毎月第1土曜日・第3火曜日：午前9時30分～ 尾西生涯学習センター 本会も歩み始めて21年日。熱心な講師の指導、個性溢れる仲間の作品から刺激を受け合い前向きに頑張っています。
		ブルシャンプルー	毎月第1・3木曜日：午前9時～ 朝日公民館 絵画を楽しみ、人と人との交流を大切に、年間の成果を発表する作品展を目標に活動しています。
		イエローオーカー	毎月第1・3土曜日：午前9時30分～ 尾西南部生涯学習センター 私達は絵画研習を目的に年2回のスケッチ旅行とグループ展を2回程行っています。
		山ぶどうの会	毎月第2・4木曜日：午前9時30分～ 一宮スポーツ文化センター 趣味の一環で、水彩画・油絵など楽しく描き、年1回展覧会を開催しています。ご加入お待ちしております。
		土筆の会	毎月第1・3火曜日：午前9時30分～ 一宮スポーツ文化センター 愛好者により、水彩画を学んで、地域のひととの交流をして、成果を作品展にて発表します。
		あざみの会	毎月第1・3水曜日：午前9時～ 一宮スポーツ文化センター 絵画が好きな仲間と共に楽しく描き、年1回展覧会を開催します。
		びくーるアートサークル	毎月第2・4月曜日：午前9時30分～ 千秋公民館 初心者からベテランの方まで、楽しく水彩画を学んでいます。スケッチ旅行にも皆で出かけます。
		グループ創	毎月土曜日3回（変則）：午前9時30分～ 一宮スポーツ文化センター 大島先生の指導のもと、各自自由課題で楽しんでいます。
		アクアマリン	毎月第1・3火曜日：午後1時～ 尾西生涯学習センター 水彩画を楽しく描き、一宮美術文化と人にふれあい生きがいのある活動をします。
		みつゑ会	毎月第2・4火曜日：午後1時30分～ 一宮スポーツ文化センター 水彩画を現物をよく見て描く事に注意して、楽しく学んでいます。一緒にやりませんか。
		I B K 美術作家	事務局へお問合せください。 絵画の発表を通して美術文化の発展に協力します。
		デザイン・工芸・彫塑部門	一宮美術作家協会/デザイン・工芸部・彫塑部
	陶 順 会		毎週火・土曜日：午前9時～ 朝日西つどいの里陶芸室棟 陶芸を通して文化の振興に寄与し技術の向上に努めるとともに、会員相互の新睦を図っています。
	尾張もめん伝承会		毎月第4日曜日：午前10時～ 一宮市市民活動支援センター 尾州織物の原点となる綿から糸を紡ぎ染め織るという手仕事を伝承し、作品を発表しています。
	尾西面打会		毎月第1・3土曜日：午前8時30分～ 旧湊屋文右衛門邸 古面の能・狂言面等を手本に、角材から型紙を使い彫り、胡粉を塗り彩色し完成させています。
	一 面 会		毎月第2・4土曜日：午前9時～ アイブラザー宮 工芸「面打ち」教室に集う会員相互の親睦を深め、技術の向上を図ることを目的とします。
	書部門	公益社団法人中部日本書道会一宮支部	事務局へお問合せください。 [書]を通じて「地域文化の発展向上」と「心の豊かさ」をめざすと共に、青少年の育成にも尽力してまいります。
		麗 筆 会	事務局へお問合せください。 書を通して文化の発展向上、豊かな心と美意識を具備する青少年の育成をめざし研鑽しています。
	写真部門	一宮写真協会	事務局へお問合せください。 写真を通して会員相互の親睦を深め、写真技術の向上と豊かな人生の糧となるように努めています。 (写団尾張、中日真澄クラブ、フォート・あい、写友ひまわり、翔の会・一宮)

部	部門	団体名	主な活動日時・場所
			活動内容
音楽部	邦楽部門	一宮三曲協会	事務局へお問合せください。 三曲協会は絃方9社中尺八5社中で構成され、合同で定期演奏会を毎年11月23日に開催しています。(松ヶ枝会、脇田会、箏琴会、筑紫和邦会、箏富貴会、筑紫加豊会、統山会、遙音会、慶山会、竹茂会)
		三山会	毎週土曜日：午後2時～ 講師宅 歴史ある伝統楽器である尺八を吹いて楽しんでいる仲間の会です。
		里音会	月2回 土曜日：午後5時～ 尾西生涯学習センター 箏・三絃・十七絃を練習し、演奏会が近くなると尺八とも合奏しながら楽しく励んでいます。
		すみれ箏の会	月4回 講師宅 箏のおけいこを通じて、音楽の知識を学び感性を養います。年に数回演奏会に出演。生徒募集中です。
		美友会	(随時) 講師宅 邦楽を愛する仲間と活動する会です。楽しく箏曲を演奏しております。
		藤乃会	(随時) 講師宅 古曲から新曲、あらゆるジャンルの曲を箏で合奏しています。新しい方との出会いをお待ちしています。
		一宮三味線川崎会	毎週金曜日：午前9時30分～ 渡辺節子宅 民謡三味線を弾き、日本音楽文化を楽しもう。
		邦楽グループREN	(随時) 脇田美登里宅 箏や三絃や十七絃と尺八や洋楽とコラボ演奏し、演奏会やイベントに楽しく演奏出演しています。
	謡曲部門	一宮謡曲同好会	事務局へお問合せください。 現在7団体で年2回の発表会に向け、それぞれの団体ごとに稽古しています。(梅謡会、相生会、竹石会、蘇水会、萩謡会、緑風会、丹謡会)
		濃尾岳風会一宮支部	市内4教場で活動しています。詳しくは事務局へお問合せください。 年間行事として年2回の発表会(一吟会1月と6月)を通じて各教場の交流を含め練習成果の研鑽。
	吟剣詩舞部門	吟道関心流真和支部	事務局へお問合せください。 年に4回の発表会と県大会や全国大会のコンクール(競吟)を行っています。
		神道一刀流剣詩舞会	第2・4金曜日：午後1時～ 小信中島公民館 勇壮な剣舞、艶やかな詩舞の伝統芸能により歴史を学び、舞台や慰問等を楽しんでいます。
		柳翠剣詩舞道会	毎月第1・3金曜日：午後1時～ 小信中島公民館、第2・4金曜日：午後1時～ 尾西生涯学習センター他 吟剣詩舞道は日本古来の伝統芸能です。「礼と節」をその心とし舞う事に喜びを感じ精進しています。
		山瑩会	毎週月・水・金曜日 山瑩会教室、尾西生涯学習センター 他 吟詠を通じ、優れた詩人の心情・思想にふれ共感し仲間との絆を深めています。又発声により健康の保持に努めています。
		一宮音楽家協会	事務局へお問合せください。 日頃は個人で研鑽している。サロンコンサート(5月中旬)定期演奏会(10月下旬～11月上旬)開催。
	声楽・合唱部門	一宮合唱協会	事務局へお問合せください。 コーラスを通じ歌いたい心のうたを皆様にお届けできたらと取り組んで練習を重ねています。(一宮マザーズ・エコー、女声合唱団コール・フリード、コーラスたんぽぽ、北方コーラス歌音、一宮合唱団くさぶえ、ミモザコーラス、合唱塾、コーラス沙羅、尾西混声合唱団、男声カルテットG5、ローザ・ロッサ)
		一宮第九をうたう会	毎週火曜日：午後7時～ 尾西生涯学習センター 「第九」をはじめ各種の演奏会と練習を通じて地域文化の向上に貢献することを目的に活動中。

部	部 門	団 体 名	主 な 活 動 日 時 ・ 場 所
			活 動 内 容
音 楽 部	声楽・合唱部門	佳 富 士 会	毎月第2・4土曜日：午後1時～ 尾西生涯学習センター
			民謡を通じ、文化祭等出演し、他のグループとの交流を深めたいです。
	器 楽 部 門	琴 伝 流 大 正 琴 琴 稀 会	月4回 金曜日：午後1時～、土曜日：午後1時～ 尾西ふれあい広場
			懐かしい童謡や流行歌など大正琴の音色を楽しみながら、芸能祭出演に向けて練習に励んでいます。
			事務局へお問合せください。
	器 楽 部 門	安 美 & コ ン プ リ オ	12月にはクリスマスコンサートでいろいろなジャンルの曲をいろいろな楽器で演奏します。
			毎月1・15・28日：午後6時～、第2・4日曜日：午後6時～ 尾張猿田彦神社
			一宮市をはじめ、東海三県で世界最古の音楽「雅楽」の演奏活動をしております。
	吹奏楽・管弦楽部門	一 宮 市 民 吹 奏 楽 団	毎週土曜日：午後5時～ 一宮スポーツ文化センター
			定例練習を重ね、自主演奏会を開催し、市民文化発展に貢献できるよう、活動しています。
			毎週日曜日：午後5時～ 尾西生涯学習センター
			音楽を楽しみ、人との繋がりを深め、希望と夢のあふれるまちづくりに貢献し、人生に潤いを！
吹奏楽・管弦楽部門	一 宮 シ テ ィ 合 奏 団	月2回 土曜日：午後5時30分～ 日曜日：午後1時15分～ 一宮スポーツ文化センター	
		リハーサルにより合奏能力を高め、年1回11月に尾西市民会館にて定期演奏会を行います。	
		毎週水曜日：午前9時～ 木曾川体育館	
		子育て中のお母さんたちが中心になって活動しています。音楽を通して子どもたちに楽しい！の記憶を♪	
芸 能 部	舞 踊 部 門	一 宮 舞 踊 協 会	越智バレエ団 一宮中日文化センター（日・火曜日） 佐々バレエ団 本部（月・火・水・金・土曜日） 糸尾バレエ団 下沼町（日～土曜日） 日舞吉利枝会 一宮スポーツ文化センター（日曜日） 日舞こま希久会 中町（日・月・木曜日）
			古典を楽しく稽古し、昨年は芸術祭参加、第63回日舞バレエ合同公演を開催しました。
			事務局へお問合せください。
	舞 踊 部 門	新 舞 踊 あ す か 会	歌謡曲や古典舞踊、民謡の曲にあわせ日々稽古に励み、秋の尾西芸能祭に向けて頑張っています。
			毎月第1・2（又は3）木曜日：午前9時～ 尾西文化広場または講師宅
			H27年に10周年記念発表会。自分の踊りを仕上げる喜び、苦しみ仲間と共に。芸能祭を目指します。
芸 能 部 門	一 宮 民 俗 芸 能 連 盟	事務局へお問合せください。	
		現在9団体加入しており、長い歴史に培われた郷土の民俗芸能を保護するため奮闘しています。（石刀祭山車保存会、真清伶人会、宮後住吉踊保存会、島文案保存会、機織唄保存会、重吉甘酒祭保存会、馬場獅子屋形打囃子保存会、瀬部山車・白台祭保存会、黒岩祇園祭保存会、）	
社 会 部 文 化 部	茶道・華道部門	同 派 会	事務局へお問合せください。
			7月に納涼茶会、10月に市民茶会、11月に妙興寺で茶会を行う等、各先生方と共に茶会の席を設けております。
		弥 生 会	事務局へお問合せください。
			7月に納涼茶会、10月に市民茶会、11月に妙興寺で茶会を行う等、各先生方と共に茶会の席を設けております。
		茶 道 表 千 家	事務局へお問合せください。
			7月に納涼茶会、10月に市民茶会、11月に妙興寺で茶会を行う等、各先生方と共に茶会の席を設けております。
茶 道 裏 千 家	事務局へお問合せください。		
	7月に納涼茶会、10月に市民茶会、11月に妙興寺で茶会を行う等、各先生方と共に茶会の席を設けております。		
一 宮 華 道 連 盟	事務局へお問合せください。		
	華道展を開催する事によって、文化の発展の向上をより多くの方々に伝えて携わっていただきたいです。		

文化情報



「阿寺溪谷」 高橋 弘子

加入団体の催し

『瀟聲會漢詩講読会』

【問合せ先 一宮漢詩瀟聲會】

☎(78)79553

日時▼6月24日(土)・7月22日(土)

9月23日(土)・10月28日(土)

11月25日(土)・12月23日(土)
午前10時〜

会場▼中央図書館

内容▼漢詩文の基本的な読み方をはじめ、作者の時代背景にも触れながら初めての方にも分かりやすく「唐詩三百首」を解説します。(初心者歓迎)

講師▼三島徹氏(東洋文化振興会会長)

参加料▼月2、000円

申込み▼当日直接会場

『市民川柳教室』

【問合せ先 一宮川柳社】

☎(44)75998

日時▼6月25日(日)・7月23日(日)

8月27日(日)・9月17日(日)

10月22日(日)・11月26日(日)

12月17日(日) 午後1時〜

会場▼一宮スポーツ文化センター

内容▼自由吟および課題吟を一宮川柳社委員が指導します。

(初心者歓迎)

参加料▼無料

申込み▼初参加の方は開催日の3日前までに電話で生涯学習課

☎(85)7074

『瀟聲會作詩教室』

【問合せ先 一宮漢詩瀟聲會】

☎(78)79553

日時▼7月4日(火)・9月5日(火)

10月3日(火)・11月7日(火)

12月5日(火) 午前10時〜

会場▼中央図書館

内容▼漢詩文の作り方の指導をはじめ、持ち寄った創作詩の添削の検討を会員間で行います。

(初心者歓迎)

参加料▼年3、000円

申込み▼当日直接会場

『第16回記念 プルシアンブルー絵画展』

【問合せ先 プルシアンブルー】

☎090(2619)8010

日時▼7月5日(水)〜9日(日)

午前10時〜午後5時

(9日は午後4時まで)

会場▼玉堂記念本曾川図書館

内容▼講師の大島真琴先生の指導のもと、水彩画や油絵などを展示します。

入場料▼無料

『能・狂言面の制作』

【問合せ先 一面会】

☎(69)7372

日時▼7月8日(土)・22日(土)

8月12日(土)・26日(土)

9月9日(土)・23日(土)

10月14日(土)・28日(土)

11月11日(土)・25日(土)

12月9日(土)・23日(土)

午前9時30分〜正午

会場▼アイプラザ一宮 第5会議室

内容▼実地指導します。(初心者歓迎)

参加料▼月3、000円

申込み▼当日直接会場

『七夕まつり 狂俳大会』

【問合せ先 一宮狂俳壇連盟】

☎(78)5002

日時▼7月8日(土) 午後1時〜

会場▼葉栗公民館

内容▼事前投句の兼題句の中から互選により優秀作を表彰します。

参加料▼500円

『おりもの感謝祭一宮七夕まつり 第50回学生書道展・第29回選抜作品展』

【問合せ先 一宮書道連盟】

☎090(9937)0220

日時▼7月8日(土) 午後1時〜4時

9日(日) 午前10時〜午後4時

会場▼一宮スポーツ文化センター

内容▼上位入賞作品、役員と指導者作品を展示します。

入場料▼無料

『七夕まつり 短歌大会』

【問合せ先 真清短歌会】

☎(51)3570

日時▼7月9日(日) 午後1時〜

会場▼一宮スポーツ文化センター

内容▼参加者による互選、批評会を行います。

参加料▼500円

『一宮市尾西俳句教室』

【問合せ先 尾西俳句会】

☎(68)23397

日時▼7月15日(土) 午後1時30分〜

※8月以降はお問い合わせください。

会場▼尾西生涯学習センター

内容▼当季雑詠4句課題1句を尾西俳句教室委員が指導します。

参加料▼無料

申込み▼当日直接会場

『市民俳句教室』

【問合せ先 一宮市民俳句教室】

☎(73)0282

日時▼7月16日(日)・8月20日(日)

9月17日(日)・10月22日(日)

11月19日(日)・12月17日(日)

午後1時〜

会場▼一宮スポーツ文化センター

内容▼当季雑詠2句を一宮市民俳句教室委員が指導します。

(初心者歓迎)

参加料▼無料

申込み▼開催日の前月末(必着)までにハガキにて、参加希望日・

当季雑句2句(初参加の方は希望者のみ)・郵便番号・

住所・氏名(ふりがな)・電話番号・

番号・参加経験の有無を記入の上、送付

(〒491-8501 本庁舎生涯学習課)

『写真100人展』

【問合せ先 一宮写真協会】

☎(76)35233

日時▼7月21日(金)〜23日(日)

午前10時〜午後5時(23日は午後3時50分まで)

会場▼一宮スポーツ文化センター

入場料▼無料

『手踊り』

【問合せ先 宮後住吉踊保存会】

☎(45)7300

日時▼7月28日(金)

午後4時30分〜5時(予定)

会場▼尾張一宮駅前ビル(イービル)3階シビックテラス

内容▼大阪住吉神社の奉納舞が伝承の踊りです。

『納涼茶会』

【問合せ先 一宮茶道連盟】

☎090(23346)0313

日時▼7月29日(土)・30日(日)

午前10時〜午後3時

会場▼一宮スポーツ文化センター

呈茶券▼650円

前売券 600円

『七夕まつりコンサート』

【問合せ先 一宮市民吹奏楽団】

☎080(5102)8611

日時▼7月30日(日) 午前11時〜

会場▼一宮スポーツ文化センター
観覧料▼無料

『黒石祇園祭保存会 黒石祇園祭』

【問合せ先 一宮民俗芸能連盟】

☎(85)7074

日時▼8月5日(土) 午後6時〜

会場▼石刀神社(浅井町黒石)

内容▼山車に550個の提灯を飾りつけ、お囃子と共に引き回します。

『島文楽保存会 虫干し』

【問合せ先 一宮民俗芸能連盟】

☎(85)7074

日時▼8月6日(日) 午前10時〜

会場▼島村公民館(島村字石畑)

内容▼市指定有形民俗文化財の文楽人形の虫干しをします。

『狂俳月例会』

【問合せ先 一宮狂俳壇連盟】

☎(78)5002

日時▼8月12日(土)・9月9日(土)

10月14日(土)・11月11日(土)

12月9日(土)

午後1時〜

会場▼葉栗公民館

内容▼各自10句持参、互選により優秀作を記録に残します。

(初心者歓迎)

参加料▼無料

『瀬部山車・白台祭保存会白台祭』

【問合せ先 一宮民俗芸能連盟】

☎(85)7074

日時▼8月19日(土) 午後6時〜

会場▼八剣社(瀬部字大門)

内容▼山車の上に提灯をかがけ回転させながら、笛や太鼓のお囃子に合わせて境内を練り歩きます。

『市民短歌教室』

【問合せ先 真清短歌会】

☎(51)3570

日時▼8月20日(日)・9月10日(日)

10月8日(日)・12月10日(日)

午後1時〜

会場▼一宮スポーツ文化センター

内容▼真清短歌会委員により実作指導します。(初心者歓迎)

参加料▼無料

申込み▼初参加の方は開催日の3日前までに電話で生涯学習課

☎(85)7074

この「いちのみやの芸術文化」は、今年度の編集委員7名により編集されています。

【編集委員】※順不同・敬称略

・浅井 英仁 ・木全 修

・小島 祥子 ・田中 石雲

・増田 和臣 ・光崎 賢治

・安江たつよ

いちのみや 民俗芸能のつどい

8/27日

正午～
一宮市民会館

入場
無料

【出演予定団体】

石刀祭山車保存会、真清伶人会、宮後住吉踊保存会、
島文楽保存会、機織唄保存会、馬場獅子屋形打囃子
保存会、瀬部山車・白台祭保存会



一宮民俗芸能連盟の加盟団体が市内各地に伝わる民俗芸能を上演します。

『いちのみや文芸2023』作品募集

市民の皆さまから文芸作品を募集します。お寄せいただいた作品を文芸集にします。ぜひご応募ください。詳しくは生涯学習課などで配布する募集要項をご確認ください。応募期限は令和5年6月30日(金)です。

1. 募集種目 ※一人3種目以内①随想・随筆②現代詩③漢詩④短歌⑤俳句⑥川柳⑦狂俳
2. 応募資格 市内在住・在勤・在学または一宮市芸術文化協会加入団体に所属している方
3. 応募方法 【郵送】〒491-8501(住所不要)一宮市芸術文化協会『いちのみや文芸』係(市教育委員会生涯学習課)までお送りください。【市ウェブサイト】市ウェブサイト[ID 1055361]を確認の上、作品データを送信

合唱講習会

初心者向けに、正しい発声で楽しく合唱の基本から学びます。みんなで一緒に歌い、合唱を楽しみましょう♪
日時●8月29日～10月24日の火曜日(9月19日除く)
午後1時30分～3時30分(8回)

会場●尾西生涯学習センター
講師●小島 祥子さん (伴奏:大前 和代さん)
定員●40名
受講料●2,500円(一宮合唱祭(10月29日(日)開催)の参加料500円を含む)
申込み●7月31日(月)までに電子申請
または電話で芸術文化協会
(☎0586-85-7074)



秋の市民美術教室

対象●市内在住・在勤・在学の方
申込み●各教室の申込締め切り日までに電子申請
または電話で芸術文化協会(☎0586-85-7074)
※電子申請は一宮市公式サイト
[ID 1054915]から申し込みできます。
会場●一宮スポーツ文化センター

初めての型染め ～日本手ぬぐいを染める～

日時●9月26日～10月17日の火曜日
午後2時～4時(4回)
内容●型染めで日本手ぬぐいを染める初心者向けの教室です。
講師●林 節子さん
(一宮美術作家協会・中部染色作家協会)
定員●10名(抽選、初参加の方優先)
受講料●2,800円(教材費含む)
申込締め切り日●8月29日(火)



初心者からの版画とガラス絵

日時●9月12日～26日、10月10日～24日の火曜日
午後6時30分～8時30分(6回)
内容●木版画とガラス絵を学ぶ初心者向けの教室です。
講師●堀尾 一郎さん
(一宮美術作家協会・二科会会員)
定員●15名(抽選、初参加の方優先)
受講料●3,000円(教材費含む)
申込締め切り日●8月10日(木)



気軽に楽しく水彩画

日時●10月5日～11月9日の木曜日
午後2時～4時(6回)
内容●身近な題材を使って水彩画の基本的な技法を学ぶ初心者向けの教室です。
講師●井上 雅夫さん
(一宮美術作家協会・日本美術家連盟会員)
定員●20名(抽選、初参加の方優先)
受講料●4,000円(教材費含む)
申込締め切り日●9月8日(金)



[題 字] 武 山 翠 屋
[編集・発行] 一宮市芸術文化協会

[連絡先] 一宮市芸術文化協会事務局(市教育委員会生涯学習課内)
〒491-8501 愛知県一宮市本町2丁目5番6号
TEL 0586-85-7074 / FAX 0586-73-9213